街頭写真から「色に対する気分」を見ることにします。

A:目立つカラー:身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー: 着ている服の色動向

C:アイテムカラー:各アイテム毎の色動向中心に、街頭写真のポイントな

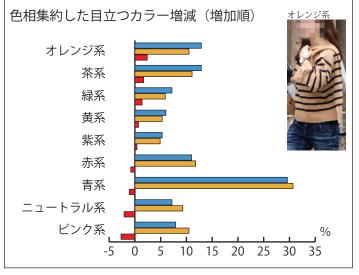
どを報告します。

A:目立つカラー (服以外含む)

目立つカラーはg茶,v黄とd青がリード

目立つカラーのトーンマップを見ると、低彩度方向が大きく伸び、高彩度方向が続く低彩度は暗い方向まで、高彩度は明るい方向まで広がる各トーンで目立つ色相を見ると、(データ表示省略) g(灰み) は、茶がリード、その他もすべて増加 dk(暗い) は、青がリード、茶が増加で続く v(鮮やかな) は、黄がリード、ピンク、オレンジが増加で続く w(x) が w(x) は茶と青が大きく減少で、茶は w(x) が w(x) の w(x) が w(x

目立つカラーのトーンマップ は前年比増加ゾーン 08W 05f 6.8→4.7 02p 13.9→10.7 **▲**2.1 **▲**3.2 01v 23.5→23.9 09GY +0.4 06g 03m 18.3→19.8 1.9→2.2 10.5→17.9 14.9→9.4 +1.5+0.3 **▲**5.4 +7.4 04dp 07dk 2.2→0.6 7.7→10.4 10BK **▲**1.5 0.3 -> 0.3 +2.6 0



概要

日時 2018年4月18日20度 2017年4月19日21度

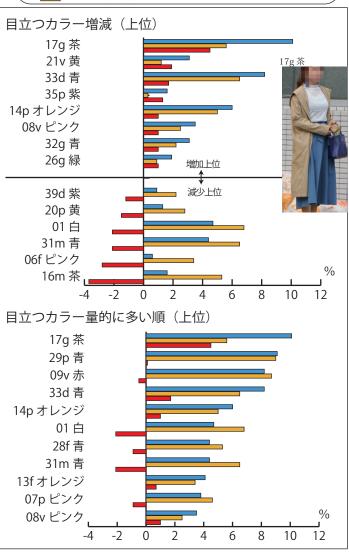
場所 神戸元町(神戸大丸近く)

対象 20-50 代女性



次ページ「トーン全体のアイテム推移」は目立つカラーに登場した彩度の高い色のアイテムを、前年比増減でグラフ化したものです。 増加上位は、コート、靴、カットソーなど。





B:着装カラー

街頭で見た印象に近い着装カラー(服のみ)

|着装カラーは g 茶、d 青、m 灰がリード

着装カラーのトーンマップを見ると、

目立つカラーと同様に、低彩度方向の g、dk、GY が大きくリード 反対に $W(\dot{p})$ が大きく減少

各トーンで目立つ色相を見ると、(データ表示省略)

gは、茶と青がリード

d は、青がリード、緑、茶が続く

vは、黄、赤、ピンクが伸びる

fは、ピンクのみ減少、他は平均的に少し増加

補足:

増加上位の色相を集約すると、d+g 青 +3.4 > m+p 灰 +2.4 > g 茶 +2.2 となって、

青系、灰系が大きい

量的には、黒が1位で安定している



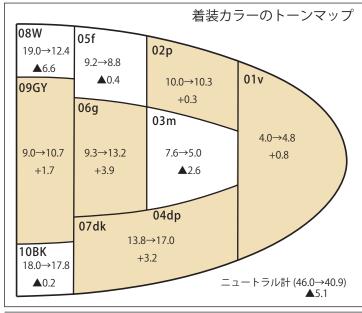
17g 茶

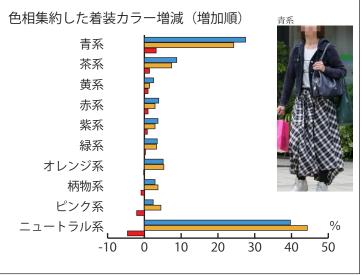
33d 青

03m 灰

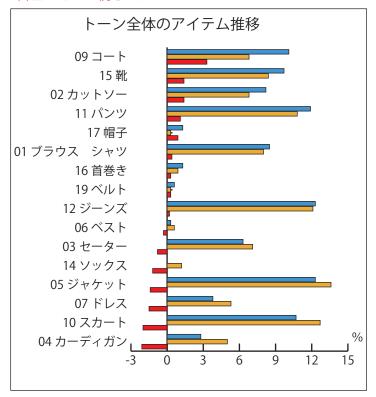
32g 青

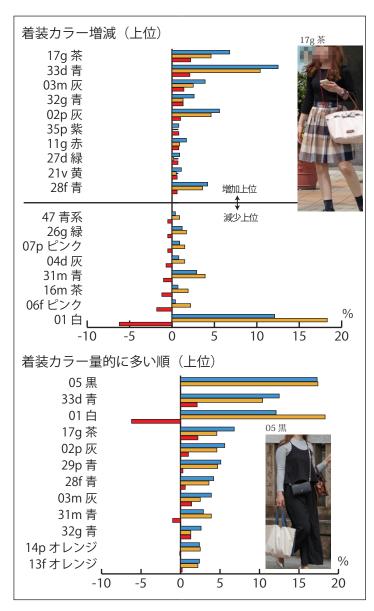
02p 灰



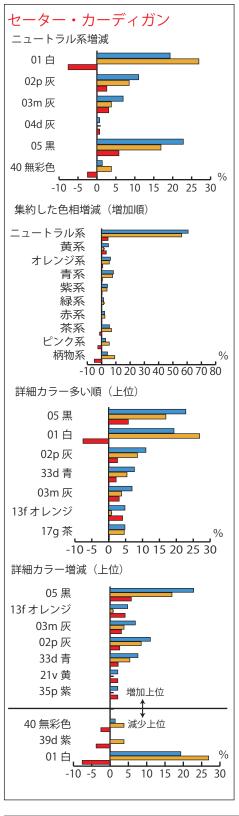


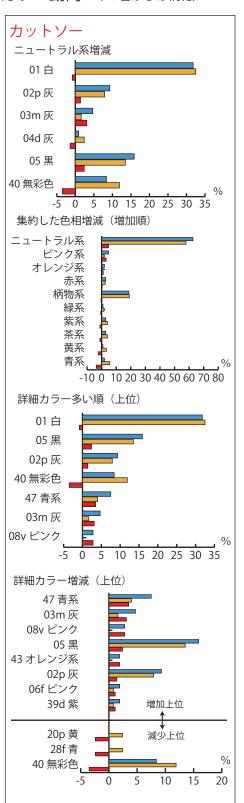
目立つカラー続き(服以外含む)

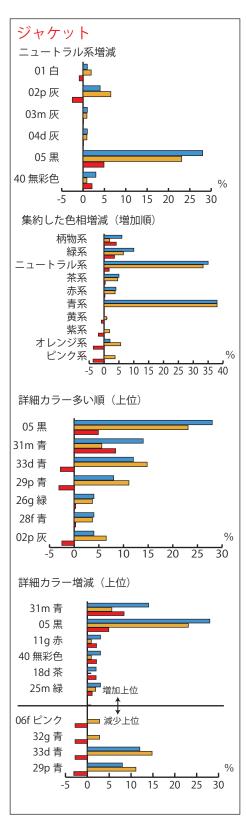


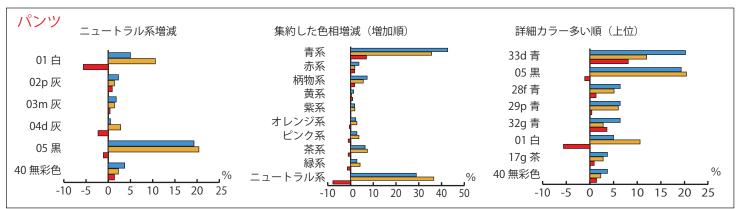


C: アイテムカラー アイテム別カラー動向 (40番からは柄物)









7分丈中心に長くなる、羽織感覚



丈が長くなる(下記グラフ参照)、巾はフレアー多いものの、ストレート伸びる スカート







シティ・リゾート感覚

帽子、サングラスが効果的

自然体

重ね、ゆったりした、袖長、エスニック





トレート 縦長を意識



ミックス 素材対比、

レザータイプ増加、透け感対比、重ね



ブラウスボリューム、立体感継続



スカート丈増減 超ミニ丈 $\Xi =$ 5 分丈 7 分丈 8 分丈 9 分丈 % 10 分丈 -20-15-10-5 0 5 10 15 20 25 30 35 40

靴カラー増減(上位) 05 里 40 無彩色 50 メタリック 11g 赤 44 茶系 増加上位 09v 赤 02p 灰 減少上位 16m 茶 03m 灰 18d 茶 17g 茶 01白. -5 0 5 10 15 20 25 30 35 40

